

あなたも直売 やりませんか？

能代市坂形鳥形



鈴木 真理子 さん

「栽培した食材が、お客さんに喜ばれた上に感謝されるので、直売をしていると本当に楽しいです！」と笑顔で話してくれたのは、今年直売歴 14 年目となる、鈴木真理子さん。始めは数品種の栽培でしたが、お客さんの要望に応えるため、現在は 20 品種以上を栽培しています。「みょうが館で行われる、栽培講習会のおかげもあって、多くの作物を栽培出来ています。これからも、人と人のつながりを大切にして、安全・安心かつ『朝採り』の出荷に心掛けます。」と意気込みを語ってくれました。



■商品紹介（季節等により価格は変動します。）

- ①ジャガイモ 100円/700g ②ブロッコリー 180円/1袋
③カリフラワー 120円/1袋 ④パセリ 100円/50g

■店舗紹介（みょうが館）

JAあきた白神管内の農家による、自家生産物等の直売施設です。真心をこめて作った新鮮で安全・安心な農産物をお届けします。

お問い合わせ：0185-58-3005



あなたもチャレンジ！

家庭菜園



土づくりのポイント

野菜の根が健全に伸びるには、(1)水はけと通気性が良いこと、(2)水持ち（保水力）が良いこと、が重要な条件となります。

土には細粒の粘土と、粗粒の砂の割合が異なる団粒構造と単粒構造があり（図参照）、団粒構造にすると孔隙（こうげき）率が高く、空気や水を適度に含み根がよく伸びますが、その状態も数年野菜を作り続けると、痩せて単粒構造となり、孔隙（隙間）が少なくなり根があまり伸びなくなってしまう。

土を団粒構造にするには、良い粗大有機物（堆肥、緑肥、ピートモス、ココピートなど）を十分に施し、深く耕やすことが必要です。

根が深く広く張るためには、深層まで条件を整えることが大切ですが、その目安として、直径8〜9mmの棒を畑土に挿したとき、あまり力を入らずに入る作土層が20cm以上

あることです。カいっばいに挿し込んで測る有効土層が60cm以上あれば申し分ありません。

畑起こし、粗大有機物入れの時期は寒冷の冬が最適です。それは他の作業が暇で、畑が空いていることだけではなく、掘り起こした下層の土を、厳しい寒気にさらし風化させることにより物理性が改善され、病原菌や害虫、雑草の種子を死滅、軽減する効果が大きく発揮されるからです。

作業の手順としては、前作の残りがすや病害虫の被害株・残根などをきれいに取り除き、堆肥などの粗大有機物を畑全面にばらまいてから耕運します。耕した土はなるべく表面に凹凸があるままにしておき、寒気に触れる面を大きくしておきます。

土壌の酸性度も冬の間に調べてpH6.0〜6.5程度に調整しておくことが大切です。

